監理技術者等（専任特例２号）の兼務配置に関する調書

案件番号	

■ 監理技術者補佐※1

氏　　名			生年月日	年　月　日
雇用年月日		年　月　日		
社会保険加入状況※2		□　加入　□　その他　（　　）		
資格※3･4･5	名　　称			
	免状又は認定番号		取得年月日	年　月　日
監理技術者※3	資格者証有効期間	年　月　日　～		年　月　日
	講習有効期間	年　月　日　～		年　12　月　31　日

【作成上の注意事項】

※1　監理技術者補佐については、主任技術者の資格を有する者（法第7条第2号イ、ロ又はハに該当する者）のうち**一級の技術検定の第一次検定に合格した者（一級施工管理技士補）又は一級施工管理技士等の国家資格、学歴及び実務経験により監理技術者の資格を有する者**であることが必要となります。

※2　社会保険加入状況欄は、①「健康保険」、②「厚生年金保険」、③「雇用保険」の①～③すべてで社会保険に加入している場合は「□加入」にチェック、一つでも加入していない場合は「□その他」にチェックを入れ、（　　）に理由等を記載すること。例「(後期高齢者医療制度に加入しているため)」

※3　監理技術者を配置する場合は、**「資格」欄に加え「監理技術者」欄に資格者証有効期間及び講習有効期間（受講日の属する年の翌年1月1日から起算して5年間有効なので有効期限は12月31日まで）を記入**し、監理技術者資格者証の写し（表・裏）を添付すること。

※4　監理技術者資格を工期中に更新した場合は、更新後の監理技術者資格者証（表・裏）の写しを提出すること。

※5　監理技術者の資格を有しない者を配置する場合は、その者が主任技術者として資格を有する工種について、次のいずれかを証明する証書の写しを添付すること。

・一級の技術検定の第一次検定に合格したことを証明するもの（一級施工管理技士補）

・一級施工管理技士等を証明するもの